

平成29年度の重点課題

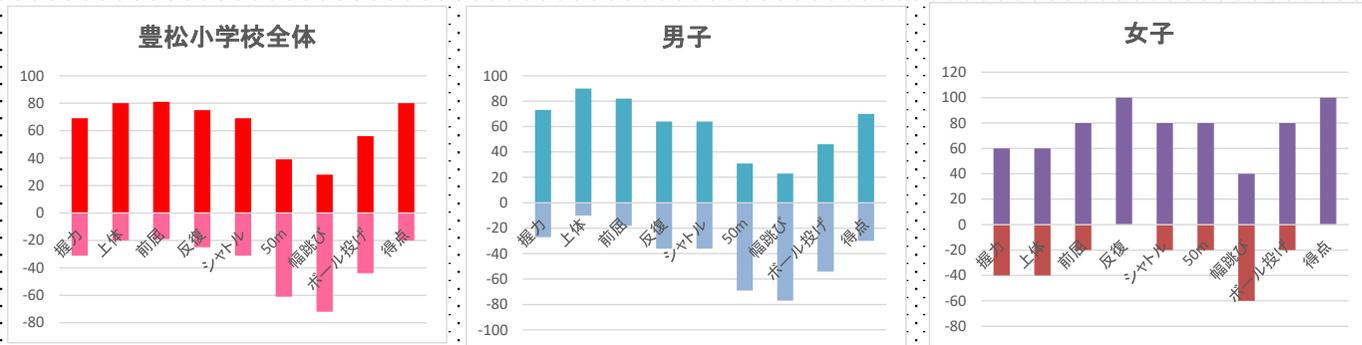
- 男子は、「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子は、「長座体前屈」で県平均以下の児童の割合が42%であった。
- 運動習慣に関するアンケートによると、運動やスポーツをする時間が1日に30分未満の児童が29%いる。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 週1回、昼の掃除をなくし、昼休憩の45分間を外で遊ぶ時間として設定した。そのうち5分間を全校で一斉に走る時間にあてた。
- 体育の授業や全校遊びのときに、柔軟運動を行った。

平成30年度新体カテストの結果(県平均値(平成29年度)との比較)

0より上が県平均以上の割合をしめしている。



※各学年少人数のため、プライバシー保護の観点から、学校全体の結果のみを公開します。

重点課題

- 男子
「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
「握力」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 共通
休憩時間や放課後に外で遊ぶ取り組みを引き続き行っていく。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 「50m走」
→ 50mの距離を速く走り切ることに弱さがみられる。「陸上運動」領域や「ボール運動」領域の体育科授業で走る動きを意識して授業改善を行ったり、全校遊びの機会に50mの距離を走る場を設定したりする。
- 「立ち幅跳び」
→ 力いっぱい跳ぶ動きに不慣れでぎこちない様子が見られる。「器械運動」領域の体育科授業で跳ぶ動きを意識して授業改善を行ったり、全校遊びの機会に跳ぶ動きを行う場を設定したりする。

平成31年度の目標値

- 新体カテストの総合評価のEとD率を引き続き0%にする。
- 「立ち幅跳び」について、1人5cmずつ記録を伸ばす。